

ガンバレ！！いしかわ農業の担い手たち！ ～新規就農者からのメッセージ～

農業はカッコいい職業だ！

ニューファーマー
山本洋平(31歳)

プロフィール
石川県白山市(旧美川町)生まれ
金沢工業高等専門学校卒業後、金沢調理師専門学校で調理師免許を取得。
ケーキ屋で4年間働き、平成13年実家の農業に就農した。
現在、家族経営で家庭菜園用の苗を15万鉢、花苗5万鉢を生産、直売しています。
野菜は10aで、春から夏にかけて半促成トマトを、冬場は小松菜を栽培、直売しています。



就農のきっかけから実際の就農まで

元々、家が農家で小さい頃から畑で遊んでましたし、多少の手伝いもしていましたから農業というものは一番身近に感じる職業でした。

しかし、高校は農業とは反対？の電気系の高専に進み、何故か卒業後は調理師学校で料理の勉強をしました。

ただ、農業が嫌いとか、儲からないとかで農業分野から離れたわけではなく、逆に将来は農業を継ぐだろうと何となく思っていました。最初から家族経営では自分に甘える気がしていたので、まず自分の思うとおりにやってみようと思い、ケーキ屋に勤めていました。しかし、祖母が亡くなり人手が足らなくなったのをキッカケに就農しました。

これまでの自分の経歴は脈絡がなく、一見すべて無駄になっているように思われますが、自分では農業をするために必要な経験を積んだつもりでいますし、これが自分の強みでもあると思っています。

就農してから現在まで
自分が就農した時点で、農家として十分に経営は成り立っており、野菜苗やトマトの直売を通じて消費者とも交流もできていました。このため、その時点で自分があれをやりたい、これをやりたいということはありませんでした。ただ、自分が就農してからは、自分なりに省力化を進めながら、直売所でのお客様とのやりとりの中で、何となく消費者ニーズをつかみ、苗の量や種類を増やしてきたという感じです。

こうゆう書き方するとやる気がないように感じるかもしれませんが、やる気は十分あります！農業が自分の天職だなと思いますし、カッコよく、やりがいのある職業だとも思っています。

ただ、農業は休みも少ないし、重労働かもしれません。また、他の職業ほど儲からないのかもしれませんが、気持ちがとても楽です。これが農業の良さかなって自分は思います。

今、7年間農業に従事して思うことは、品質を上げていくのはもちろんですが、その中で省けるものは省いてラクをして、楽しんで。出来ればもうちょっと儲かりたいなって(笑)

楽しく、ラクして、儲かる農業にするために今、農業青年という団体に所属し、色々なことにチャレンジし、勉強しています。

将来はこんな農業をめざします！

息子が、農業をカッコいい職業であると思える、そんな農業を作り上げる。

今後就農を目指す人へ

儲からないし、大変な仕事と言われる農業ですが、実際大半はそうです。夢を持った就農は、自分も大変なことと思いますが、農業を始めるということは、越えないといけないハードルがたくさんありますし、始めたとしても、厳しい現状が待ち構えています。その中で生き残っていくためには、農業に独自性を持たせることが出来るか、起業家なんだという気持ちを持てるか、ではないかと思っています。自分がどんな力を持っているかをしっかり考えて無理をせず、頑張っただけを形にしていけたら、農業はすごい職業だと思います。

農林事務所所長よりひとこと

今年から県農業青年グループ連絡協議会の会長さんに就き、農業を目指す後輩達を優しくリードしていることと思いますが、中々の苦労人と見受けました。

自分が身を以て経験し柔軟な発想で考えてきたことを元にした話しぶりは説得力十分です。

今後とも、若い衆の頼りがいある兄貴分としていしかわの農業を牽引して頂くとともに、自分の生き様を表現できる「カッコいい農業」を実践していって欲しいと思います。